

第 50 回鎌倉まつり 記念講演〈要旨〉

もっと知ろう世界遺産 ～映像で見る世界遺産～

プロジェクト“ワールド・ヘリティッジ”総括 (社)日本ユネスコ協会連盟評議員 工藤父母道さん

世界遺産条約の早期批准を求めて関係省庁に意見書を提出し、具体的な協議に入った 1990 年当時の状況からすると、今は隔世の感がある。そもそも世界遺産は何のために作られたのか。皆さんは一体何のために鎌倉を世界遺産に登録しようと思っておられるのか。あらためて考えていただく一助になればと願っている。

現在 (2008 年 4 月)、851 の世界遺産があるが、日本の 14 件を含め、すべての遺産に例外なくさまざまな危機が及んでいる。とりわけ武力紛争、自然災害、開発などによって、深刻な事態を招いているものは「世界遺産リスト」とは別に「危機にさらされている世界遺産リスト」(現在 30 件)に記載し、世界に注意を喚起し、保全への支援や協力を呼びかけている。世界遺産は、遺産の保全や修復に技術的にも財政的にも足らざる国々を、国際協力によって支えていく仕組みとして生まれたものだ。言うまでもなく世界の観光地の紹介や、地域おこしのためにあるのではない。

「武家の古都・鎌倉ニュース」を読んで、気になる点がいくつかあった。たとえば「屋久島は世界自然遺産に登録されたことにより、開発行為などさまざまな制限がかかっている」との指摘があったが、それは違う。当該国が世界遺産に登録したい場合、まず自国の法律や行政上の仕組みできちんと守られていることが申請の大前提。世界遺産に登録されたことによって新たな規制が生まれるということではない。日本の自然遺産の場合は自然公園法や自然環境保全法などで、文化遺産の場合は文化財保護法や関連法などできちんと守られているものしか申請できない。

また、よくヨーロッパは石の文化で、日本は木の文化だと言う人がいる。だが、実は北欧や東欧には木造建造物の世界遺産も数多くある。一方、日本の城郭建築はどうだろう。姫路城をはじめ、まさに石と木と漆喰でできた混在文化だ。世界を類型化する見方は一面的であり、危険だということを世界遺産は気づかせてくれる。世界を単純にひとくくりで見ることは、将来への判断を誤ることにつながりかねない。

世界遺産の仕組みは万能ではない。世界遺産条約や条約履行の作業指針に、何か強制力や罰則があるわけでは

ない。保全する上での限界や欠陥も多い。もし、普遍的価値と、完全性や真正性を失う事態になれば、世界遺産リストから外されるだけのことだ。にもかかわらず、重要なのはなぜか。それは遺産を守る上で、他に代わりうる、これ以上のよい仕組みを、国際社会はまだつくり出せていないからである。だからこそ、この仕組みを大事に進化させていきたいものだ。

◎ 鎌倉は、世界の遺産の保全のために何ができるか

私たちは、鎌倉ユネスコ協会の仲間らと、南米のアンデス山中の世界遺産周辺に三つの学校をつくった。先住民ケチュアの子どもたちが将来、盗伐や盗掘、密猟に頼ることなく少しでも自立して生きていかれるようになればと願う。教材は鎌倉の中学生らが、たくさん集めてくれた。教育こそが、世界を変えていく原動力であり、学ぶ機会を奪われている人々への最初の一滴だ。

鎌倉を世界遺産にと考えるなら、わが身のことばかりでなく、その鎌倉が世界の遺産の保全のために何ができるのかということも常に考え併せたい。人類の“共有の遺産”とは、そういう意味だ。一方で世界遺産登録という国際的評価を強く望み、他方で守るのはローカル・スタンダードでというのは、国際社会に通用しない。コアエリアだけでなくバッファゾーンを含め、守れそうにもないものは、そもそも申請に入れて出すべきではない。

世界遺産登録を望むということは、郷土の誇りである遺産の価値を高めていく、たゆまざる努力をしていくことの意味表明にほかならない。それは、大きな宿題を自ら抱え込むことであり、その重い荷を、将来の世代にまで背負わせるということだ。その覚悟がないのなら、登録を望むべきではないだろう。

世界遺産というと、何か素晴らしいもののようのみ捉えがちだ。しかし、万里の長城やマヤのティカル遺跡などを見た時に、素朴に感動すると同時に、それを造らされた側にも思いをいたすような、そんなたおやかな歴史観や文明観を持ちたいものだ。世界遺産は、国家や民族を超え、自然や文化の多様性を理解・尊重し、歴史の多重性を客観的に複眼視することの大切さを教えてくれる。その尊重なくして私たちの未来はないからだ。

また、世界遺産だけが重要なのではない。足もとのどんなささやかな自然であれ、文化財であれ、それは等しく人類全体の共有遺産なのだという思いが重要。それを少しでも損ねることなく、貧しくさせることのないよう、個人の生き方や社会のありようが問われている。(了)